けふ委曲奏上

参田参照文長を安へて将山陸相、 議案の内定を見たので午前十一時

十三年度以降についても

各道に對して通達

認可方針

現に願する一切の準備を完了

四国議案を中心に重ねて伽重極計

日政権根絶に関する帝國政府の對一个教育力針(1)都校建築一

語に関聯し國民政府代辞者は七日 窓里表示をもなせる程文は毛頭な

(古馬農和鉄路)まで新設厚生名 上問章、近獨首相以下各閣僚出席 |

南昌空襲

師手統を行ひ次いで対支重要国派 ナ分海軍航空隊物館〇〇横に長昭

「開し十一時三十分まで各般の様」【上梅九日同盟】九日午後一時三

| 宋皇電話|| 政府は十日の既時間 | 支根本方針を決定すべき十日の館 |

けふの臨時閣議

で対支重要措置を含む流

職で發表された風見容配官長の談

より和議を求むるが如き如何なる

の長距離飛行ローマ南米間

意を披露した。現代の一葉を横でてある。同様行はローマ語を披露した。リオーデディネロ副長距離飛行計

上海工部局問題

| ロップ・ファイン・ | 「ロッドン・1 日前盟 | イギリス外 ッパレン省月日十日月書間積光 | 「ロップ・ファイン・ | 「日の歌ったいよッソリー「柳青は 上母子的歌歌」と解析。 日本 と 解析 要に入る動物と観報する。 東京は、野点三名は海峡の著して変加の著して変加の著して変加の著して変加の著してある。 | 「おおいでリオデデヤネロにコ | 「中では、上母子の物語、なり、異求につき観点体語をより、大乗にコンが伸びを張しないでサイモ | 1 下頭りに来、他種園政府と認識、実、丸代来、熊本種人中日某一でおどの表示の様子と、皮膚、異求につき観点体語をおり物情報、容明・単位とものとというのもある。 東非は、男人三名は海峡野人歌笑一名自治・「上世帝の著語、女母、異ないでリオデデヤネロにコ | ロッドン美日同盟 | イギリス外 ッパレン省月日十日月書間積2 | 木のあってのもある。 東非は、男人三名は海峡野人歌笑一名自治・ | 「日ッドン美日同盟 | イギリス外 ッパレン省月日十日月書間積2 | 木のあってのよりは、またま、熊本種人中日本一で観点した。 | 「日ッド・ | 「日・ 英國順りに對策抗議

邦人漁夫を袋叩き

劜

支那人抗日暴動

【線外赤】

公 祉 償 栤 賣買并募集引受 式 ①

大阪市東區北久太郎町貳丁目 福三郎 社 長 黑川 一般取引員 大 株

20. 21. 22. 727. 827. 2175, 3243. 4379. 4285, 37. 38. 39.

受 催 略 験 ヲサカ カブ クリカワ

子抗日政権を根

和平云々のデマ放送斷乎一蹴 緊急臨時閣議て方針決定 を発調、十二日天様に赴いて解散

聯盟の制裁規定を

廢棄を提案

(空頃は松岡さん)

魔権権の下に九日ソンガポール市「方の間に敵悪狂争闘を務めし多数。 焼肉の支那群衆は共産業並に抗日「官隊を急遽田勘せしめたが遠に攻。 感して朝祭不認の形態を示したが、する形勢を示したので常局側は普

ボール在住支那人は九日インドに「動を行ひ一大為家をあげた、熱紙」散された。これに低憾した女」「シンガポール九日同盟」シンガ「内で言文那数同デー」の一大示妙迦一の負債者を出した上続徒多数 おける「イソド教國テー』と相呼 | せん支那群親は頑犬鋸動化せんと | は九日椒磨された同腑を勢退するボール在住支那人は九日インドに | 動を行ひ一大気勢をあげた、熟紙| 聚された、これに晩餓した支那人

館をやめろといふ走古かた。な下痢に懈まされている(

~更に臨時閣議

こに完全に変見の一致を見るに至った、次いで近衛首相は何五昧空の根絶を期することになり、三時間に亘り愈見の交換を遂げた後に 2到する内容を根壁として俄重鉱鉄の結果、支那における抗日致糖一計相官脈に於て販急騰議を附き連帯兵器で決定した對支根本方派

「東京電話」政府は九日午前の大本の意義育議に引入さ午後二時に を求め政府側近衛首相、杉山沙仙、木内御相、岡田州相出席に 政権県穏の根本方派に関し政治の主式歴度を決定すること、なつた。も時を同じらして南邸の上空に現見を聴取した精果、十日に時間違しおいて九日の間識における抗日。へた、また三木、千田暦空襲地跡 各参議に内容説明

致行し所期の効果を収めて暗躍し にれ酸の各重要理點に反復埋撃を

更に読小殿かエチオピア合併水甕 下スイス政府が聯盟。以上論を示唆 府の中立宣音に扱いて聯盟のお睦

| 使項級歌を示唆する真貞祭を英佛 | 財として左の如言觀測を探くてゐの第九十九回題事會に毀して翻談 | ネヴァ友局は九日聯盟消息通の見

同が絵型見利に基言利茲に参加と思する場合特別の情報を提供する場合特別の情報を提供する場合特別の情報を提供する場合特別を提供する場合特別を提供する場合特別の情報を提供する場合特別の情報を提供する場合に表

Ħ 店

販

阪 本 商 店 内市市 日本 ファー・マグネット 株式 倉 社 ・ 大 倉 社

星 進 豫 型

市西萬北城江通六丁自

田高 のの

【ゼネヴァ九日回盟】ベルギー政「盟界約の課続後項政業を考慮中で」き最後の協議を発げてゐるものと

將政權にとつては大打擊

その第一端として來る十七日間育

解される、右につきAF連信託ゼ

の意思を示す帰ヨーロッパ小域群「阿関の名はおいて提出する意向と」る

川越大使を引揚げよ 後の臨時間識で決定した対安量本方統の内容を説明したる後名参議 との間に職意な言意見の交換を送げ間と時数食した と前大使婦英 「ロスト

川 【星泉電話 | 抗日欧田県地上 | この電視の電視の電視の電視の電視の変形ので大 したの 温硬論が 達頭しその成行は 頗る 単観されるに至った。 せいしたの 温硬論が 達頭しその成行は 頗る 単観されるに至った。 とになったが、最近諸般の情勢に 鑑み上 海に ある川越大使を引揚ぐ 於て受けた節もすつかり称え。子 長人同伴ロンドンに鉛速した、 ・チブル ● ヒューゲッセン氏は八 かりょくなったやらです』 元気であった 「政府に有事悪に対路する」の間「英穂南國以府百暦と真言架文につけずる原向を示してあるが、作問に目下パリ、ロンドンを展訪中で特する原向を示してあるが、作問に目下パリ、ロンドンを展訪中で開発の設置的を実験と

强硬論擡頭、成ゆき重視さる

臨時政府を 絕對支持

大連の民國人 海運業者代表

海蛇在はこの見地より見れば夢に吹っさるといふにありず目の閉跡でも右に関する樺がが行にれるごあらうとの影測が有力である。 一日を呼戦しつとあるので我方としては、もはで何かを指手として行く必要なく織つて引起火候 使一反省を要認したのであるが國民変析業人は帝國のかくのは、当時代を異なく織つて引起火候

國民政府虚勢を張る

仰望崇者二千を代表する宇徳女氏 中華民國臨時政府絕對支持の決議 【北京九日發本社特電】

我が方に損害なし

我が陸戰隊には損我軍の上陸に抵抗な

◆木野本が独山緑沙務官 村上河 市官を常同連会問題行合せの片 めー・日 『あかつき』で東上 めー・日 『あかつき』で東上 今兵執王郎氏(金藤谷具)内市 原行中 十 14年後一時 三十五 5 であかつきって隠城

鹽序學務局長東上

穗積殖産局長東上

天地支黃

1個證券現物賣買・募集引受

近衛内閣の根本政策九項目

大阪市西區阿波座中通丁目

く陸戰隊は青島港に上陸、一部は既に市内に突入残敵を掃蕩中である、我が陸戰隊には島に向け敢然敵前上陸を敢行、靑島にあつた支那軍は早くも潰走して我軍の上陸に抵抗【天津十日同盟至急報】當地着情報によれば青島港攻撃の我が海軍陸戰隊は十日拂曉より

- この歌風旅正式洗足を行ぶこと「真弥の雨を移らせ多大の行戦を與「日本大便道等を脱訪し日海支視等」使藤形感式は既に随風したとぬ一「スコー用後がり総由層風の途にフー」に開任しないものと見られる、「連大便として歴任の金にある一旦体神子後一時より脱議を再贈「行塩及び格納庫兵会を軍事機能」「ある。在は一行は中華民國義民令」「モスコール日间盟」駐撃支那大「モスコーに歸還したが九日再びモ「使で支那に向ふばて五鼻モスコ」に前駐原外交部那事度長額第が代していて各級の折濁が行はれます。「確の軍事要権情報に飛び回地の根」支持の決議文を手渡して急援の支援を入し、「一会級の折濁が行はれます」「統の軍事要権情報に飛び回地の根」支持の決議文を手渡して急救えて、「「駐訴・支那・大使更決」「「その戦闘を疑切って去る六日誘然」いた、郡大便はより野蛮の上飛行「既に結婚大使強急事官に任命され

したもので建築の様式。材料、こと(2)都級増加の計養健立

たのでいよしく十三年度新島別からを素の現状と済州、北支閉袋のた城大理工島部は臓保徴等も通り。最近目覚ましい殺蔑を遂げつくお

| 世報、中島民衆の浅望の的であつ | ら目出度く誕生することになつた

は 全目的とするものでなく現上時で かっぱ かっぱの制限に就て かっぱの制限に就て し 他質を変むるドラミスト

城大の理工學部

工事は精木人口の労加等に刺す。 ものは、その特殊部位を雲的し、 大変での種類によりに関係していません。 報道者を投資中島から電田しように異実のものよ外は認めて特徴。 などの状の工事で特殊部間ある。 機管の行政により起復制の減少 けでは間に合はなたなり「技術的に緊実のものよ外は認めて特徴・予念と「犯」削各項により起復し、機材その他的強の減少 けでは間に合はなわれてゐる半島のは原則として認めない「含」上。 りその他の費用け取入の以後と 局に製造するため、支金の制而 足場的地位に促かれてゐる半島のは原則として認めない「含」上。 りその他の費用け取入の以後と 局に製造するため、支金の制而 新學期に四十名募集

べきも可成民策に風趣し葬史す | 局及び城大符局では駁年前から城

その政権を進めてったが、中央で

とこの型型形まるに繰み本府風和 もその必要性を認め目出たく雑算

御伽鏡ですな の演集算を編成とある。えらい 英國が宍土億間といふ空前の 何時もながら文辞はうまいものつて攻勢へ、と國民政府の宣派 防守的態度を一概、全級に耳

ところで、その食器に鉄程

夕刊六頁朝刊八頁 こいやらだが、やはり女の後智

營業案內御一報次第御送附申上長

4.祉に宛てた書翰と共に

發見された星野曹長の手記

戦死直削ま

教育令改正、提げ

鹽原局長上京

から早くもこの問題を待たれてゐ 信時間短縮で京阪神各地の商人運

教育者の自覚を熱学

申請された大ビルが二十五件

鬼にも角にも認可か

野サルベーレ副特 人 投票 館 花 菊 也 圓 一金 名位度大利

留守の妻から詐取

過太い新手の詐欺漢

八をおびき出

京流 フルミ 果った に 選手おと 切 予の Al 元 III

|}

石標で表示する

山元原價並ニ諸掛リ昻騰ニ付

月十一日ョ

快き便通から明教、明朗、明教、明朗、明教、明明、明史

三明!

[上]

神宮奉賛競技

商組合

拾錢

別鮮創刊號の農民讀物!

載大好評!

建削まなりが座金青キアますのま

突撃する將士に

蒙古の嵐に起つ、四虎の英雄 「いらら、だが世紀の祭禰は高ら │ 異類見徳王には耳に蘇義策・新年 | 路を通つてるたが、途にその甲斐 彼らまた寅年生れであつた

大阪からも

威胃·肺炎 扁桃線炎

里 ->抑指命

與 章 研究所 與 章 (六+牌,一円 東 章 (六+牌,一円

湾定被省部文・定撰部報情閣内

大学の大学では、 のの大学では、 ののでは、 のの大学では、 のの大学では、 のの大学では、 のの大学では、 のの大学では、 のの大学では、 ののでは、 のの大学では、 ののでは、 のので、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のので、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 の

坂井耳鼻咽喉科醫院醫 京城本町一丁目入口 智衛士 坂 U, 11, 11, 15, 15

井

府籍路三丁目四七ノ一 食社 大 一月 出版社 ラキサト 咳きたん 宗神田鍜治町・大阪淡路町大木 合名 會社 効果はトテモのみよいシロ 削は個様人に 吾尔武田 (發賣中) モップ 錠 食品基份 电大路 医水体 医克里氏

た全南自鵬車|無残煙死した、この撤事突襲の報 向つて菱単ししだけで他の六名はいづれも見るも

客中必死に逃げ出でたものは七名

内尤進回安并里班萬 "人"。河里金 二人組牛泥 【統營】郡

に入り込み、スリチピで好い機銃

ばし、その金を山分けした上市内 東龍里金京樹に三十二四で買り飛 時年頃市外上新里土市場で造装面

に突込むと同時に車番は頭翼、乗

で原草に附けた燃え三しをタン

方面整備者をそれし、附近の野院

正式に参加を表明

列席して劉月撰會長の司會で晴れ

邑内の各官公署長民國者志多数

東亞平和萬歲、咸興中藝商會萬歲 布商階以川氏を推し新政府萬歲、

5編れたガソリン近く投げた|

か時なられ担里の上空に夢で渡

「自宅の大正町を出て祭町をヶ崎 **〜頃この鰹湖のヒロイン小學校☆**

*)を振舞で殴打し現金十五回出資

もなかった、道路に口哀れにも血暗めかけて只漢と類別つみで言葉

るた。湖南トラックの運動手

【大邱】岑下十三度餘を降る大郷|

|大春城を與へてゐる、即ち六日に| |二人、三端町で | 人と計五人の乞 は泉本町で一人、七日には河町で

件の多数となった

がさなくとも人夫不足を來してる

韓車盗難があるので、これが犯人

廃城中のところ去る十一月初め頃

【大邱】稅務監督局管乃雲屬異動

常州邑本町三丁日

文化堂

大邱監督局辭令

芸町七二岡本松三郎氏の自縛車

では四月以來府内に於て賦々と自 【大邱】職職者六名の自動車窃答

脊系岩

河(資州) 玉雀 使雄進舞邸補(保安課)佐竹盛亥

助の水道枠結氷して故障を生じ際

【天安】十年以來といふ酷魁で各

と判明した。府内泉町池成地(三) 一般説の結果 酪製のため棟死 人が競見直ちに光州器に報告した 路附田側に行倒れのあるのを通行

地へイの一番に進出する理研大コー

らず支那人部落が出現した た、これが常埋立地附近には時な

癩心六人組

郡

大 を荒す

ソッエルンの日浦マグネ工場の或

|埋立工事に職様十三年と共にいよ||と、ころが多層で見ずれるを帰入れ||(戦前補)三和川下流刊湯地の道督||で支那人労働者百数十名を帰入れ

請資業者は大弱り

日間に五人以東死

所に水道に勿論軽油も酒も即も疎一日午後八時ころ府哲・場手前の進

つて悲唱をあげてゐる、この分で

は昭和七年の廿一度三、同十年の

選早く駈けつけた消防隊の必死の なめにせん物度い勢ひであつたが 一面火の海と化し、附近一帶を一 井磯山田弘所軍庫内のトラックか

事務員鈴山茂雄氏("♂)同妻女の二 ので、同時に傍らに執粉してるた

人は無事処庁出したが同軍唯二階

三和川尻の埋立

工を急げざ

一プに酸突しガソリンが酸火したも (でご一女ヒサモさん(で) 個人松本

社工場より田火同工場を全にして

釜山時報焼く [釜山]

領火した、原内指標等は目下調査 十日午前七時四十分頃爺山府時報

近越智病院に牧容安藤氏是女信子新治者(よ)の六名は火傷を負ひ附

原因は同日銭山から運轉して來た。氏の子女は逃げ進れて安藤長治氏 出盟所一棟を全側して銭火した、中の安藤長治氏(**)家族並に釣山

男子秋若(デ)婦山長女美代子さん。シ集

た際、過つて車庫接付けのストー トラックを同車庫に格納せんとし

昭元つだ。で直ちに収調を受け れた同族と少年の帽子が髪

響であつた 今泉少年に機関風 先者機関

を持つて今年脳童から表際されぬるが尹は五ヶ年間無罪故の技

は綴み上つてゐる有様だが、この

|食が失機で早やに矢國へ上つて行

二十五度 安州健零下

し二度六分低く、この模様ではま分を示し非冬の最低二十三度に對 郷でで七日の加き塔下二十五度六 安州】安州の昨今は近年になり

鱈の大群ご入來

漁場一日の水揚げ三千圓

った、駅川登院故間に横はつた は路面一杯でどうする事も出來な打路の人々題せつけたがもう鮮が 原情折をなしアッと云。間に即外 「飛輪」下敷になって無視しも職

路面は鮮血に一杯彩られた撤事が朝耳憶騎が突破しアスフアルトの

行中の大同都南串面郡家安明國に昨年十一月四日夜府内三井里を通 【平道】新春早々船橋県の御手橋

辻强盗

船橋署でお繩

高唱しつト関旗を打ち扱つで近

目の変叉點で可憐な少年の自一街道を挟走してきた平壌公安商會

送の途上

哀れ出征勇士の弟 **裡里のトラツク禍** ロの防御に差しかくつた際。平南蔵六〇七級列車の抵利品験は二十

迦師手及ご助手は餓死の重傷を与 トラックと衝突し自動車は大破し

來り道立聲院で手當中けた、兩名は同列車・南部に連れ

火事

六人火傷し幼兒一名燒死

軍隊も消火に出動

の機器をみてあたがいよく大日の機器をみてあたがいよく大日には臨所五色体の最近でなり元旦には臨所五色体の開発が開催していたが、

大邱驛前目貫通り

内に宛夷行進を行つた 後日の丸と、五色媒を翻しつく市の民一河定州細社に登拜率告した の新政府参加宣標式を駆行引載を

(位度)

母公防備乃主協兵の変として半島 は解給の一部を既出する事にな 金州】戦時體制下の持久戦に半 全北道でも

宮间百分の三▲判任官同百分の助任官権給月額百分の四▲委任 で決定八日所屬官公署に洒膜を 北道でも七日左の如く隣田官 上告葉却となった

進動部(精州) 李 恒 忠北辭令(八日附) 阿 (保安課) 李金泉 景 銀

朝鮮麵子或會社

尾船 汎

\$ 幸田健造前店 155二番 赤暗 玉 各產業團體

北部 | 四〇二番 會 館 朝鮮米穀倉庫經 di

友

陵木 曜

娘するや世間感を恥ち生後十日の一の鋭いメスによつて躁躁されつ」 1月下寺田司法主任の手で統立で、するらしい押収する一方蔵教信柳賢地を引致 ものでその あり臨州等からは多数の職場中を 鋭意取調べ

すに至り、昨年四月11日女兒を分 粒びつひにお決りの因果の准を宿 **厄を續けてゐたが一昨年六月初旬**

一男一女を抱へ辛うじて生

| 扇州寺の眺座の收支関係が遊配し | 伯言』の一味六名で彼等は手分け 其などで一般の指揮をうけてゐた 「調べを進めてゐるが、橋本山たる | 李方传「」と黎山和海平面生れ李其 ものでその概能金額は数手間に遊 まじき破戒の配行を敢て行ひ高利 と無版を通じ寺有財産を跨船化し一事を振つ拂つては翼り飛ばし遊録 てゐるため統制を映いだ宋寺は柳

金川】既禄、去る五日夕別女 **以毒级行員** 命を以止む

して府内を排摘手書り次第に自独

温

南鮮合同電氣體 陽 Ш, 115

摄替京城一三三四一零

杰

上木請負 完給 曾社中村組員江原道江陵郡江陵邑大正町一五四番地

塚

春

次

専務 阿 村長・関

大會<u>計</u> 犬

熊 飛島組工陵出張所 江原道江陵邑

^餘飛島組工<mark>峻出張</mark>所 江原道江陵邑

6 h

P.里梅礦一河、興南中華商工會等 新政權參加

では武の目前支援郷による東洋平和は央づ見城の制育的駅和を乗る部制料金を組織を乗る部制料金組織を乗る部制料金組織

東洋永遠の平和と國民の幸福をはかるでは日浦支三國の初郷的顧和をはかり本格的政治工作に乗り出した、新政府本格的政治工作に乗り出した、新政府

出収頭だけでも七千川倫の大穴と

市

企

鍾

江原道

組 江陵邑

Ш

張

崎

源

五

たが探査の結果判明した公会

何行では日本銀行代理店係で

平壌】明朗五色鉄の中華民國四時政府

北牛一頭を盛る出し、阿日午後ご

は無我無中で自動車を路下の番甲、蝶って一朝打造に逃げした。 は無我無中で自動車を路下の番甲、蝶って一朝打造に逃げした。

全南長興

に引火タンク爆發

の金官との他関係官衙の長、元山

十六百名の支那人全部、朝鮮軍 質言語を可決しこれを附近在留

方、我等 | 同は関民政府新政府の基礎既に定まり

先づ教育を革新

日滿支融合の新教科書編纂

資(一)は其後一命は取止める機器

三中井百貨店

墨

湖

漁

組

合

似ず選夜大雄風を吹かせその ある、同人は給仕上りの政治

正河件復泉巡りのはて忠南温陽で では自殺を企てた船南銀行員会権

北京政府員資料蒐集に來朝

がこの程度化・月下成興第三取調

けちかねてめた定州在留中華民國 【定州】明朗北支新政権の誕生も 宣誓式舉行

年前七時同里金米元の中小屋から「野」金属飛事に極襲された ・ を終二」の両名は非脳の上、七日 | になってゐるところを統督器の岡

氏百五十億名城外舊泉工樓に登集

「したが源氏は韓頭で次に如く語り新政 北京新政府は友邦日満廟園の絶大た接の明郎政治を謳歌した

新政権の初異動 元山領事は新義州祭轉 鎮南浦領事元山

署では極力測在中である、擬燃料

四度を示し一月中の最低としては 烈を極め八日の最低は遂に等下一

【全州】今冬の寒さはいよし

人邱测候所致 布村重

氼

FB

江陵合同

追納配

二十年ぶり 全州地方は

水柔官公署長

让原道江陵郡江陵邑林町

東海興業株

式會社

二十年間中第五回目の記録であつ

人と同時に婆を瞋ましたので大邱 ノックを選轉して来た選轉手は登

新年に任命され後任に城南前領事 をでは今度領事馬永豫氏が領域州本月中旬出路の後定 のでは今度領事馬永豫氏が領域州本月中旬出路の後定 のでは今度領事馬永豫氏が領域州本月中旬出路の後定 十五番タクシー、公會堂を始め自 一萬五千圓、附近には九州堂、

下旬から二月上旬中であつて、

寒ごは相談なものであらうと

でゆけば二十日から入る大照

貨物自動 京春鐵道株式會社 前春鐵道株式會社

一大ニプニ

支車

店部

汇陵本町八

wii 自動車會社

江陵印

主任

崔 刷組

話一三五番

共

同事務所

維を呈し野祭官。軍隊等出励野形 る繁華館のことして、一時は大混 脚車業 旅館 商店等椅比してる

取締に任じた(寫真は火事現場) 官公吏醵佥

投票買收 統營の許氏

上告棄出

したことが譲��し、大邱賀和法院浮外一名の投票を干回づつで買得 【純質】今春色から選出された 上告中のところこの程高等法院で 質論員計論解は有権者元邑解解

李 铍

來

臓

旌

善

郡

農

江

原

道廳

善

郡 會

忠州支

鮮

汽船會

江陵郡旌員

同

同

測

湖西

公醫 推 州

涵

郡

教育命

青海興業株式會吐 由 馬

會

ほかに既時に世名を増加して修理

【大田】三戦四進をふつ飛ばす酷 酒醬油も凍る お台所に悲鳴

釜山府は轉手古舞

【釜山】元日以朱飾駿の襲来に顫|木道保では十五名の工事態業員の

していたのもあばれであった 車と衝突

既員が詰めかけて々成佛しろよ 貨物自 した兄の身代りだ々と騒をあ

を呈してゐる、右につき郡木村技 関係場の附近に時なられ音気 質回遊には稲好の季節であったない豊産と思ふ、永温ルーのでは、大温が、東京と思ふ、永温が、関子でゆけに本名の館像は

鳴をあげてゐた創海の鑑識に<u>実被</u>を呈【統管】一時不識のため衆落は悲し、

鎭海灣に活氣漲る るところは從副受消卵とる、傾似病で現在大流が

選捕訊問の結果他にも五名の共変

川 員 郡

廳 同

忠北柱建築協會

青海麻柴中毒豫防協會

永同酒造場會社

士士十九月月 月月月月月月月 窓会社選奨品

その際はあなたの御親切さまに對

してだけでも一倍の働きを致し

いと心掛けて居ります」といふ題

たる彼女の容貌は決して人の注意

て特別な心づかひを抱いてゐる市

そのうちにどこかへ出跡の命令が

あるものと楽しみにしてゐますが

生存を呪ふやらなことは決して

五日迄(十月に

この新しい軽限方法は今迄の様に

で邱恵な護狀と一緒に、田舎人の

一月は十七日例祭に寮뤛の上明 、毎月十七日に離前に衆뤛し、 一人一首、株式は美雄紙以味 い一般進をとげるだらうと見られて一び出す新しい工夫をして、グライ - は各國とも改々盛んになつてゆールニアのグライダーファンは最近

日本でも今年こそはめざまし

帯壁んなのは**顕遠**なが、米國

スピードで高原をぶつとばし のスピードで高原をぶつとばし のスピードで高原をぶつとばし 型の他骨のはまる様な木のレー

スポーツの尖端をゆくグライダーでも相合成行してふる、カリナオ

離陸に劃期的新方法

●グライダー●

をゆく

気を見ると、さすがは東京なれ

こたのは申すまでもない。 合つて

が単の卵そのもの及び物子そのも も云ふべきもので、これはフラン いはれてある、とに角、先頭返り 合種の精神病、粒核、梅毒、柳朵 他の一般は中枢脱又は翅質跳と の病的變化があつた時、受精明 ●各定田来ないと何様に後の戦 | 郷生会、採川及に満草の趣能で得る。 性病などで子宮、轍脱管に 病的極化の起ることも全くけ 欧陽相反する成職で、今正ち 面には比較的少ないとされてある ある、これから見ると病院によつ では百三十二回に一回、深川では 北西出方面に多くて、南方九州 程少ない、アルゼンチン、パラグ |皆二十二回に一回、後草の鹿 二回のお産に双見一回、際生育で アイなども少い、ロシア、ポー これは人種、國及び同じ國でも の位多いものであるかと出ふと も北ヨーロッパに多く、前に行

い、父母共にこれを遺傳する。 ・、父母共にこれを遺傳する。 ・、父母共にこれを遺傳する。 ・、父母共にこれを遺傳する。 に双見け然らばど 佐殿総道の重いものが好んで入 院科を相當に要するので比較的 院科を相當に要するので比較的

北支を描く

既に快徴に近い人造は、無略に苦

しむである

職病院に身を落ち飛けた勇士強、

島の方へ行く。その後を母親がつ

いて行く。安全のおやちは店さき

呼びかけられて子供は疳物の上か

さあ、場やってれちやもう一度

前級より負傷し、潮くにして野

野戦病院にて

米大陸發見の翌年に連れて行つた

彼等の爲に取つてゐた。

て続後の人造の関心を欲したいと

して女房や子供から親切な見も知

軍器中佐の部隊長が此點につい

あの親切がこの主人にも

駆換した

前の造り得ることよりしても色 ▲牛が初めてアメリカに翻介され要が朝たは、つて、一部性の友 せると 1 ご元英雄に邀する受付期に防 ペーポリス人が別る配の長さを合験性係も同様であって人工的に たのは一四九三年、コロムプスが ▲牛が初めてアメリカに紹介され

かも知れない。

り、何等装飾のを然ない自じに対

さい。すぐそこと申しましても二

一册の維起を一枚疑らず確むだ

來ますよ。いや、何に車を出しま

ころへはわたしが知らせに行って

『旦那、よらがすよ、隣田君のと

さの聞さんわたしの車に乗つて下

と終日のることは戦地以上の団苦 | 丁や三丁はありもさあ】

安全の主人はもら取に入つて店

とし今時のラギオ

時には不時窟のやむなきに宝る 潜し之が疎結して非常に悪くし の水路線が飛行機の翼に附・を通る黙いガスの黙を利用する

ぐ方法がアメリカの航空庁宿職 田させて歌而に當つてそこを退場合がある、この氷の凍草を防 管に送られ、管側の小孔から放 で気の前面の内側にある長い そしてことで出来た水蒸気ほ管

新知識

聞きかじりの生中可な言葉を採

機翼の氷結防止◆ 不時着の関れのリロ 「それはよかつた」

軽い話をする位だらう』 「三味や太跳に気が引けるもの」 「戦争にしても、地域だつたし」 「だまつて飲んで、精々で騒者と 角は見なかつたなし しかし、さすがに泥酔してゐる

羽氏によって将索され物許を得 やうにしてゐる。この方法はど ドルセン、ウイリアム・クレイ ものは悪められてタンクに戻る間委員會技師セオドール・セオ める、かくてまた水籠となった

氷が附くのは普通に翼の端のな機・億にも利用できる貼が便

利とされてゐる

黙であたらめようといふのであ であるが、この部分を水器気の

一般は、西者などといふものは、 『全く假け賦心しちゃつたよ』

を思ひ出すために名刺をわず と関れたの夫に彼の安否を配 之功お内のチェ女と文道する代り 敬へてほしいと群いてやつた。 宣 てこのハガキには場やの名前を

島の方へ行くっその後を単観がつ」らと考へたっ彼に辟逃ずる牛島にら腹のおもちやを抱きたがら、牛「間僚に一任するよりは安心であら呼びかけられて子供に雅物の上か」車に取引をこの仁に頑んだら唐の「 だらな人つて名刺を求めるのであっ を是非側はせていたいきたいと存 使い事もございますから、お名前 受り掃しなければならない古自動 砂家と見てとつて、何れは旣麼に あなたさんを見込んでお願ひ申し のが自然ではないかと牛島は自己 妹の夫の方をもつと心配してでる 供とに慰安の言葉を忘れてほなら を心の底で希望してゐるのでは、 ないと思つてゐるだけだと自分に

らぬ人の話を聞いて、非弦に驟踏 | 全多クシイの主人はこれを近所の| パから表へ出さらとしてゐるo 牛 | 方は再三切記するから別にかくす 『名前を申し上げる謎の者ではあ 人々などに話し解へてゐるうちに にも當らないと氣恥しいながらに 名刺を交換した。上等兵の選輯手 牛島の叡切を知つて感心した安 と年島は反つて富級するのに先 てゐるのではないかと思へてなら 安でならない。藤田上等兵の選手 の現化を期待してゐるやうな事が

商速度で走る自動車の屋根から飛一推調する連中であった。しかし牛 市内版の社會面の一隅に美蔵とし時前標の好話雄と思つたものか、 いまでも好慰を持てる極人であっ 品はさら言はれてみるとこの田会 たに進ひない。 批賞を平案から笑び話の種にしてつて明かになつた。 律料者の模範 ことを言つて揶揄するのであつた るるやうな思い理中がさまりな めると、その原因がこの美談によ の残らしい連貫事件が怪しまれて、在等になって現れた、模範批員 顧田上徐兵は無路に入除した。 といふのは自分の心を以て他を である。こんな事があつてはなら 牛島が 新聞紙を手にして あつたなら人を呪つてみるも同様 るが、牛島が彼女のために鑑し にまでおくれるやりな結果にいた ら感じの悪い女であつたら果して の名前を見ることを忌 な認れるの ある。 あんな田合女房のそれ

龍角散の主治効能

略族の鴨揚(しつこい)なる 想要性、仏教性語話の 流行性感冒(ヹ゚゚゚ヹ゚゚゚゚)の咳 たんせ h

ŧ

譗 症 そ

百日 「咳、 邮機 カヲセキに織む 肺患 者 麻 の 疹 t

ŧ

咳

鎌

宙

劑有含ンモルホの一唯中藥咳

全國各薬店にあり 三二一五三十十 日 回 田 田 田 田 田 藤井得三郎商店本舗 #式 8 並 東京市神田區豐島町 電航浪花 (67 | そ0 g番 振传東京 九 一 番

日日定

分分分分質

鐵原金融組合

中村組出張所

題してばかりあるかと思つてる

が、必ずしも、さらでないわり 「穿つた言葉を使ふ坂がゐたぜ」

さったる程、肥つた女だつたが になるでは言葉になつてないだ それにしても、ケッアツが高くな ッになつて來て困りますといふ るといふのなら解るが、オッア

「僕は、新發見をしたよ」 尻の厚味が大きくたるといふない こところが、たんく、肥つて来て

東州金融組合

土木建築請負業

西組

西

台

助

原金融組合

鐵

原

郡

4

異說||俗說||迷信| を生む

風紛れ双見の出産

LLI

で双見は生れるものと考へて差。では六銅乃至に銅が一般性である。大風らしい、一般此合では真立十万人し、一般此合では真立十万人と、マス隆國では二般性が大顰多くても考へられるが、さうではない。 タス隆國では二般性が大顰多くて

双見の八朝は二飛性である、我國ッパ諸國では二飛性が大變多くて

アスない

百五十、二百回に一の割合

従ってこのやうな病島では一般が双胎は姙娠経過が重いので、

となる、又なの初度による差と一これも人種によつて異る、ヨーロ社会よりも双胎は爆山生れる際一人方法を立とまって可じしてして

鶴

田

吾

郎

は移へられない(つじく) すのづかひを忘れなかった。 さうら向もあるが、これのみが原因と さがし出して 寅之 助機 お内と能 なくよつて二明性が少ないと解す が少くなつて今日男女の双見が少| 忘れてしまつてるた上等兵の名前

ない残ってゐるやうである。從一女の双兒は心中者の生れ難り、又一種の迷信、慣智が地方地方に今一 これに刻て或甚る日日本では身

昔は殺骸したゝめ、その遺憾悪衆

は母親の不殺の子であるとして、

域はれる傾向があつて、各は色々の意味で今日迄世間

せが極めて少ない 從つて日本の対話には男女の組合

これに就て或脳者は日本では男

醫 上 坂 盤

宇

金

化

公**各**署官

交

友

會

小

宮

山

٨

郞

中下出

岩太

AK.

k

木三郎

唯一のホルモン含有熱能角散の御服用に限ります。 等の難症に陥ります。これを治療し變症を防ぐには咳薬中 内にて最も大切なるは咽喉です。 咽喉は一切の紫変と病菌を 人は健康を以て最高の資玉としなければなりません。その健康 人體永遠の仇敵です。冷斷すると肺炎、防膜炎、肺結核 通過さしめるからです。その病機の内たんせき、ぜんそくは ラ朝の香

新斯斯 軍皇 祈 月 久長運武軍皇

Ex 池]

澤

簤

金

娍

金泉俱樂部

鐵原器小學校

昌道金融組合

不三萬 吉原捨右衛門 Ŀ 靜

鏦

原稅

務

署

池田野

顯

水野 **東朝堂東獎趙** <u>|||</u> 盟 **咸北雄基港**

田

原 警察署

原

郵

便

局

H

央

利

組

合

水。

古銀 支

後 店

龍

雄

鐵端

原

館

平康

警察

署



畠移出入を取締る

工米市況

若気も避々それへ死て、

| 正丁夫 | 相『イヤ其の御祖では却つて縮み | 一大邪だといつて飛んで参りましば入六三 | 相『イヤ其の御祖では却つて縮み | 三『ナニ仲間の三吉が、若且郷の「と」と 人を

引が成立したと云ふて、「「トーラングを見ったからる事は光でとんでも」『一人で動きては前対筋の 刀を備いて逃げて行く、其れを若にますが酸に五十甲」はが担って行かうとするから、 に依りペチャ 持「ア・コレく」道ひなごるな、

物を持つて居ります、聴て其れ りましたる十三名、各首に獲物権所へ向ぶからドンノへ飛んで発

楽で

ぜんが既に危き所をお助け下され一て是れへ添つた」 三「オウ若且那様、両無事でござ



た、師殿殿で若且那の録き所が助 〇「ウム、質は基々云々で、此の者『とうら且那様有難う任しまし』即の讚んだ後で』 かりました。何とも御殿の申上片|御方の御助勢に依つて、幸ひ事な

柳『コレー お前は比仁の宗来の きを得た、館くお前からお醴を申

でうもございません 】

かして震へて居るといる事はなか。三 にも武士の歌を企む者が、厩を披|網「お前は何だ」 相手にして切合つて居るのに、假 らう、共 處が武家 駆めの辛 い所|諸家様へ人を入れます、元権秘護 でうだが、歴紀にも主人が大勢を │三「エム、お武宏様、どうも有雑 上げて呉れ 5存じました! 「私は後草田原町に居ります、

料「アン左続か、後年田原町の花 三『どうも有難り存じます、兎なな額をして居るな』 神三五郎、成る程、荒神様のやら

在『恐れ入りました、面目次節も見て武蔵の棚古をするが宜い』

て発神三五郎などと申しる をして居ります三五郎と申すケチ

な奴でこさいます、人が総名を

* 『シテ質段の御翔親は未だ御盛

· 「されば手前父母は最んでごさ

だ、単数是れといるも、武藝の心

俗がない気であらう、以来は間を

んばからない。一般に其れは不慰で ○『イヤ三五郎、お前宜い所へ集らと、此の若然がお暖にならなけ」うこざいませり』 めるから捕者がお詫び致すに依つ一が耐いた、其れちやお前の家へ御 、どうかお話し下さらねぞう、 | 案内をする事にしょう て、今日の事を解しばしてした。上りながらお話なさつた方が宜し まし、家へ來で鍛くり御酒でも召まいから、マア家へお出でなさい 三「どうか且那、私の家へお出で きを避けると云ふ器には行きます 角も何で、茶店と云つた所で人間 うございませら

いては御身が御宅へお戻りにな "一ア」それはお漢ましき事だ、

岩葉も硬を建して繋びました。 とじょう

「イヤ是れは何かと行居いたる 何を掛けてお遺はし下さい

柳『アト左横か、縁らば阿道数十を順ひ戻り存じます』

財物値や其他の情勢 から見て米値が更に 高値を孕んで居るこ たけ難も異論のない たであるが只思慮筋 として順を関連を

龍齋貞丈演 俁 茂彌尚



日午後二時より宮中で開催

山陸相、米內海相、末次內相、賀屋藏相參列、十日の閣議決定

とも稱すべき中山路)

謀次長、古賀軍令部次長、政府側より近衛首相、廣田外相、杉多大本營側より閑院、伏見兩幕僚長宮殿下を初め奉り、多田参多大本營側より閑開される、長くも「天皇陛下の御親臨を仰請、御裁可を仰いだ結果、茲に歴史的御前會議は十一日午後二穀支重要方針を決定し、これが遂行のため御前會議の開催を奏製支重要方針を決定し、これが遂行のため御前會議の開催を奏【東京電話』政府は十日の臨時閣議に於て抗日政權絶滅を期する 川東頭沿岸一帯の 青島港占據の端を開く 安全地帯を指定 一人には繋えの安全地帯を推定、危険地帯に燃むさるかう無 一行から共に、第三國の確論にこれを城市すべき問題調・外國 在青島外人の爲 「上郷十日問題」或が軍には島支那民郷に対して技能験者を に基き對支方針に關する軍大會議が行はれ、いよく、我が不動 の確固不動の方針を中外に開明するため重大聲明を發表するこ の剉支施策を確立することとなつた、なほ政府は右の結果帝國

職を開始し何辱の撤憾をも深ることなく即く討る形式集の編を開いたのであつた。即り十日拂暾:投籍に成功、緩いて山東照治岸一帶の敵群上望を取行、直ちに二路に分れて貴島に進まり十日拂暾:

部は市中目がけてピラを戯布。支が民衆に對して平和祖に付為を日本軍の手に委ねるでう動者した『三澤十日同盟』皆爲来弘によれば十日の官章政略に當り朝来得爲市の上帝三衆来せる我か飛行#〇

信號、台に白旗 年後あらかに自城が振げられた、有ばは一八九七年十一月十四日我要求に確じ 「天津十日同盟」は最市内外を一説の下に帰近するは数を二十日我要求に確じ

障碍を受くることなく靑鳥を占領、直ちに市内の治安維持についた(寫眞は靑島の銀座街【靑島十日同盟至急報】十日午後三時十分(日本時間)わが特別陸戰隊の先遣部隊は何らの

【東京電話】大本營海軍報道部公表(十日午後四時十五分)我が海軍封鎖部隊の一部は作戰 7の必要に基き今朝陸戰隊を揚陸して青島港域の一部を占據せり

を完全占領

報電は政府の新機能計過金額を發 門紙によれば新雨軍記載「總س数 必しセンセイションを起してゐる

植空母艦二岁、總噸數二萬七一四十噸

再開: 生心廣田外相、杉山陸相、

立の緊急国時閣議は十日午後三時

職を重ね、多田大長に同二時中、

鮎川總裁等新京着

商船も新造

『に向け自測車及が徒歩にて顔々退却中である

膠濟線の大半を確保す

つてある。長機線東部の子墨忠軍 に現たこれ又猛地な振撃を加へ、十日正の軽鬆西方一里の地監」追して一部に軟首を轉して浙江名衛州 日夜鳥樂を占據し更に建攻を滅じ、別に就想な反対衝撃を散行し、更同け漁戦中の我介証が高級は、九一て江西省青安に飛び同地軍事を挫

過一つよある軽部像を撮影し、更に地 を做附近に懸居し執拗な抵抗を頂け 加の機は山西省太原の西方山地向口 長 【〇〇十日间盟】近藤部隊積號〇

興く前進中である。 雑器から回島

我か東部進撃が、無人の境を住く、無事問題した

北支農民救濟 新政府の對策

ドイツが市場合領に借って同國。旗を提携した由緒ある土地である

|濟南十日同盟]||膠資線の敵を急追東進中の長野(義)部隊は、八日夕刻青州を占領した 于學忠軍は續々退却 とする形大な計画で、一九三八十二十七歳乃至三十九歳を建造せん二十九歳を建造せん 四二年までに後初とい計画な他誌「船二十戦乃三四十三戦を新並するあるのである、同案によれば一九、委員會は今後四ヶ年計画として商本間に亘つて全部を完成せんとす。大職戦を企ててをるが、駐邦段事 三九年度に一部を起工し今後数ケ

地の15扇が青泉方面の際確に高いてもらが、わら軍の際軍隊時具来が後に軍艦を受けて取くもだとさら、南方推用点、原連隊が打方の青州を完全して翻案を成らしめた地として有名であり継大な城廓をもつてある。 青州域は管仲が齊の桓丞をして翻案を成らしめた地として有名であり継大な城廓をもつてあるの 青州を完全に占領した。 我軍に抵抗した青州縣長は部下三百と共に向方臨時に逃走したの青州を完全に占領した。 我軍に抵抗した青州縣長は部下三百と共に向方臨時に逃走した【濟南十日同盟】金嶺鎮を攻略した長野部隊は膠海線に沿つて東方に猛進八日夕刻膠濟線上

【天津十日河盟】を所収を東方に「言假単航空隊〇〇機は収風を働い」上紀別を加へ大なる提密を興へた「河北自共市政府氏は十日右決定案

工作に落手することに決定を見た に中央の方針を像へ積極的に難設

【東京電話】明年度各特別育計の一一般、特別開食計公使養行雙九餘

公債發行額決る

明年度各特別會計の

カ政府は海軍の大建艦案と共に帰

【東京電話】開職業の承認を求め 本部、軍令部協議 閣議案とつき参謀

を招待新き吐い供達威を張り且つ 日間滞在し、此間在京朝野の名士は八日夜「ひかり」で来京したが数 自此機器は川鞍介氏並に同れず役

告

罹災民救濟金

朝鮮總督府は一億六百萬圓

帰災民穀務に指手するとになった

私の一生にとって 窓外洗い ものでありまし

(新にする所以であります。 五年の歳月は

ました。日頃からの感謝のおを、この歴史にした御間懐、御援助は一方ならぬものであり関下はじめ、一般の官民の方々から脳はりま

般の官民の方々から聴はりま

願いまうれば、

同世界プレナソ路において發生し るに決定した、

縦下車に変遣。 | 首相と| 音談す | 話 1 本林 | 目間型 | 谷公使 天津着 | 天津千 | 各公使 天津着 | 天津千

順一郎氏は十日午前九時二十分首

| 連続領事を贈问十日午前十時四十

四十分にして同士時解去した

總領事館に入った

期待せられる

厚生省の新設

相官邸に近衛首相を訪問、今談約一分天港沿場内總領事の出迎を受け

眞相を通告に決定

工事を起し登民に敬を與へると脈。湾事業 道路の改良新設 思想は鼓路に彷徨してゐるのでおける宜尊により農民學生華の粉民主義 國民黨の過去に 農民の腐祉や進を聞る 事領知日本兵の行気につき多大の 夜イギリス糖領事館より我が總領 査パーチーとの紛争につき、八日 た我が陸軍脊僧兵と英人工部局巡 日夜イギリス總領事道に傳達され

爆弾炸裂

十名以外た人与の効果もない。 第五種会計が最大によっておりた人与の効果もない。 第五種につきば相を確ら調査を を前供助により重要の開発、民 ※五韓につきば相を確ら調査を 生の南上が庭の樂士建設を窓球 めてゐたが、その結果事件に全く するものなることを知らしめる。 まさ 我が慇懃事館側に於ては罪と臨力不適を有する旨の申出があつた、

|公園 | 隣ににおいて十日午前十一

【上海十日同盟】プレナン路三

生し非に全く院英人鑑定しあるこ。 個無規に當つてをり奉ひにして他 大き里とは、正則不ら死こ。 ちょうなが、上で、父母、たて、父母、からざる能護の言動に原成して強したもので、同地域はイタリー費 本中にカナ (振舞は例の如く標準の空職を利用 本中に日 田雅光等手に脚光を流び、総院の温硬なる反動に依り、保証からざる能護の胃本単に動する許すべ、振舞は例の如く標準の空職を利用 本中に日 田雅光等手に脚光を流び、総院の温硬なる反動に依り、保証からざる能養のは、その結果事件は全く 民衆を登越した、原訓べの結果総 一貫・電子電子観光 著名氏形の巻び奏、音者の脚築に保険節様数の一切をも 時大音響と共に爆弾作器し附近の 歌として揶然された厚生省は愈と、包括することとなつてゐたが、既【東京支社劉】革育内閣の初の英、首相の戦策に保護事務の一切をも 本省 は廣田內間當時既に 力、衛生、強防、社會、勞働の五

打海軍 **貸位の向上、特進がその最も主要** 健衛生省の名が懸せられてるた事 に依つて祭知せられる如く、國民 岸生施設の完整を期するのが目的

「果京電話」わが別支根本方式職 全球本部、軍会部の在前を輝へ臨 機筋破の割職を目摘として関系機 4.14 C 臨時 医 議 ここ多田・古賀南大是古りそれぞれ 機筋破の割職を目摘として関系機

のであつて、同時に一般厚生施設(艮)同上の大坪環塘氏(三菱銀奈柳倉鉄山郡具計畫の重要なる役割を持つも) 来訪

花

製出

事務を代理する事と相成候間此段議決定まで副社長御手洗辰雄臨時社長今般社長高田知一郎退任し後任社長

霸志軍一月首 京城日報

辭任に 際してご挨拶

とでせる。からいつた傾向は今後に於て更 に見、耳に聞いて微度が微謎の選を破したこを那事短以来、その魔しい現住れを殺しく民を都事短以来、その魔しい現住れを殺しく民の辞一體は如質に現なれて来いて居ります。 今で歴代總督以下官民の努力は報いられて、

ことは数なら四私如きにとつても既に済足と既に成れりの事質を見ながら、朝鮮を歩るに完成されることゝは思ふが、内鮮一種の甚 事物をとることになって居ります。阿氏は今 私の後には耐長決定するまで御手洗刷利長か

門溫泉

府

館

泉

尮

湔

安維持はいよく〜南京自治委員會 | 【上海十日同盟】大上郡の慈軒地 | が、これ等民衆の自治組織の要認 の手によって行ばれることに決定 | たる南市が我が軍に占備されて以 | は目と共に観着なものあり、南市 常務部長に任命、王氏は部下百六 | 住民の居住を許可してより陥宅す | し、隗魏氏以下南市有力者の鬱獣 | ◇澄げた「日自治委員會は委員主察生氏を | 來茲に二ケ月・新黎我が革が支那「自治委員會の設立は急速に其種化一米内流科に 十六日に發會式 佐袋を式を駆ける連びになった 屋*舞へられつゝあつた有腕合
即印述來路面成小風校に投て盛大一度に粉籠すべきことは本有散響

に手を切つた南京二十萬市民の治【南京十日同盟】國民政府と完全

南京自治會

警察部長任命

南市自治會

四相重要協議

米内海相に居残りを求め重要認識(依る変通省の設立等空輪的省職合後近衛資相は廣田外相、杉山随相)の新設、帰道、悪信剛省の合併に 【東京電話】十日の座時間鏡数録|商工度材明名の合作に依る建築省 である、即ち拓柳省の駅上、 ないである、即ち拓柳省の駅上、 なく反射の示唆を異 つて自然 説が、切迫した時代の要永と相俟

株式會計單一條行安與支店

徐

妤

翊

朴

弻

秉

職

員

同 廳

安

城

郡

理事 山根 世安城第二三版組合

襧

夫

理事 東 田 安城金融組合

隆

次

機能の全的酸糠に供る耐吸刷研 光質に依る複雑化の排除と、行

名を率めて治安工作に招手した。る者既に萬を以て數へるに至った「的努力と相俟って一月十六日午後」

フレナン路事件

質陳省等の新設をも強烈せられるが異はれ、更に近き勝來航空省。 が左穏根弱い信念に發足してゐた に至り、同時に亦、木戸文相の摩 **ゥデオロギーたる大臣長官分職論** 成敝大弘堤水利 京畿道立醬醫院 番 胡食 員一

同

常教取罪役 金

台 婀

景景社

城南電燈株式會

の億力的生活的な施設充實に萬全 家姿源の穂前員と相関つて、 とまれ、非常時下に於ける物的國 下に於て國民の全能力發揮が要求

陽水利組合

短合是 宋 昌 漢天安穀物商組合

笠

勿

尹

鄱 阳

萬 院

李李

己憲

废求

天安支店

天安笠与

宫

水

百

Ľi

組合

平

野一二

副銀食 谷口清太郎

二時四十分外相官邸において駐日

山金融組合

東一銀行天安陵

丁綿

- | -

阊

支店屋 李

釽

畑政

天文池田電氣商會 松下豆器蔬菜株式會社門理店

· 野村盛久 龍 成歡農場

久

老課大長 一十日午後 時十五分首

大長運武軍皇 文長運武軍皇 第16

即 附 左 典記

國商

會

成歡穀物商組合

斯拉四六部

無甚 竹原

春

吉

兲

i

天安酒造盛會社

埋水

權

걋

場 (語) 田 選高水利報会

計長李

Ħ

和

亭

天安 鹵

更 罚

灰

箱

— 院

所是

ılı

崎

傠

n i

价基郵便所 牙 山 即

科

FY ES

型 古 野

1 統員

炽旅 願 二

井上啓爾店 解解 瑞

具館

成歡鐮業株式會

Îúi ijį 邮社

【上冊十日同盟】 職隊報道班午前

劣下が虚影されてゐる今日、時機 配食省、保配省として分化された 目的であつて、杜丁體位の鴻道的

ヘラルド・トリビユーン紙の報道

とに決定した

田參訴大長 古賀軍会部大長釜集

の具徴化は、続後陣の影響に拍車(全金原動氏(忠北河車)九日入第6できて、『時年』射角重義部(長)同上

温度提升

造 本鮮 温神

社

朝鮮擴業株式會天安部签明面良住

原生病 唐安 服 島林紫所 供式會社安 眠 島林紫所 二 山 郡

チ LI B 岩

苌

拃

曾

T 話 <u>.</u> iii 九 ☆ 店

彼等を感服せり

(願はろい) 者 席 出

独军 中 將 前调查用長官

法學 博士

F

-十一月前日・東京祭地監事に於いて――

御手洗副社長及び

れて来なかつた。軍権」が時々現け を強調し來れるものもあった。 の融機作法が未だ徹底してあた 現はれた際に放ても、なに 質良たるの身だしなみと観点 学べきことについては、 東 養行せざるものがあるとか、 ら同様共鳴の撃があり、或者に於て力脱したるどころ各方 從來館り現は

> 全土を不定 北支を基礎に

そこで弱へにやならん。なければいかん。唯北支だけをま

年の日本

州を平定田來る見込みをつけて來

味をなさん。 を抑へる理想の下に拵へなければ 特殊されが共優になつて支那全位

先方も算盤に

ことは、北支政権を建てるについ

圧倒する眼像は、鼻関原民の修構 人の類型した人の脱欖にも、敬意 を失してゐるものもあり、故意

ほど、脱帽正婆の破嫌は十分 皇國精神に立ち

年を訓練せよ

心がける必要がある。始政以来 、とも有効なる指導法の一つで 更に公衆の相合する場所に

が、日本の大陸以策から

通に文化に 見ゆるものは

一つて、旣に〃鮮滿一如〃 一碗棺からこれを唱へるの

佐を見ついある時 北安の | 岩挟助の原則下に確る

の流影調査の土産話を持いて十数年前私は東京で島居博士

てるたやらに肥低してるる、 の運動と同一民族精成を希上

では赤色ソ聯の南郎、深古、では赤色ソ聯の南郎、深古、

「内鮮酸和」や「内鮮」

E概が能感するまでの間、『軍庫・3が、更に公案の相合する場所に でうた文字を大きく掲げ出して る人はかとる場所に於ては、

のことに云ふ鮮滿北支ブロ

ぬことは、次に來たらものへ **陸譲ぎの地の制からいつても**

とする構選が各族の中に流り、ソ民族が一致結果して起た。 る大陸の中央に数在するツラ 鮮滿北支ブロツ

クの結成

ないことを断って近く。

青年開指導者講習會における

が、今後大に老へわばなら時間相に由ること勿論ではあります

四十四周(既定十三萬國を含む)

合でもある。 ての風土に馴致し長い歴史 半島治政三十年、その間に 元化することである、

血の近いものであつて、健疾肌と同じく内鮮爾民族に最も ン民族系統のフイン人、マデ 人等から見れば歌音、 籍の下に今日まで帝々と鼓励 は既に影脳所疑合語の風い 民族なり、お互の身強を流れ

は朝鮮と日本とに別れた常時関榜神の一本に聞一すること

よ、向ふの人間も狭盤に乗せてでは算盤に捜目がたき過ぎたと ヘラキリ言ふと、今

古田 御可慰です、私はもら

罪せてやれ

ずぶつたくりが少しひと過ぎや 字程に「脱帽」と前性するも

すれ程良くなる、英國の権民政策

に自ら何を避れる心概へを以て、ある人にかよる場所に於ては、気 ざった文字を大きく提げ田して

> ノクの内容的なものではあ 北支プロックは見解支ブ

ても、最も重要な立場にあつ交通機関の路域な動から見て交通機関の路域な動から見て 陸段さの地の初から

このツラン民族運動の盟主にてゐるとを知るとが出來た、

ないことを断つて強く。

て島もは

とする推選が各族の中に流れ
と見族が一致抽紙して起たん

陸から成れて來た一つの熟版 よるツングース版であつて大

朝鮮人の悉くが「我等は同一

民族なり、お互の身盤を流れ

鮮滿北支ブロツ

つの結成

田

生

ばこの地様での三つのも が、日本の大陸以策から

鮮消北支のプロックである、てヶ鮮油一如々の一步崩進が

聯の思想的影響の二つから主と

方に英國の經濟的勢力と一方に

御手洗 今の支那の振り

つて安那の民心を傾向させる上

法をどうするかにあるんですBの訊いてゐるのは日本の具質的

御手洗。そのためには、

る事情を相互に研究してこれの場合の情報はいるのでありますが、この論習分を可能のでありますが、この論習分を可でありますが、この論習分を可でありますが、この論習分を可でありますが、この論習分を可じたが、

わが

政策

彼等を感服

初の試みでありますが、等い此回の語習食は朝鮮としては

著牛増強に要する十三年度20年に | 指導の萬金を即するものである 豫算四十萬圓查定通過

種を失してゐるものもあり、故意 の誰のないやらた者であり、また するほど、風媚田婆の職嫌に十分するほど、風媚田婆の職嫌について見るに、

神に立ち

帽盤 說

日浦紋機は生れたのだ、

通に文化に見いるものは鮮 よつて関係に政治に經濟にあつて、既に《鮮游一知》 の確信からこれを唱へる

た頃の實力を發揮する時が來

來つ

人配追下から逃れようとする

声抗することの出來る實力と は世界を支配する白色人種に

の運動と同一民族特成を希ふ機多の質問を舉げた民族解放

てみたやらに肥地してゐる、

相互挟助の原則下に殆々と

日籍協製の民族がその配先をの議場製金の土地話を輝いての議場製金の土地話を輝いて十数年前私は東京で島居博士

も中央亜細亜から東線して今

番

ソ民族となつてゐる、この所てゐる。そして北支は降ッラ 協船、朝鮮を超て日本に到つでは赤色ソ聯の南部一家古、

た

『至 ラン民族であつて鮮い流れ支部か その先輩を1にする同1のツ

的からいへば内経済家北支は

に、その他公けの食合乃至公日 公衆の合合に、動場に、映画館

類したり、軍族に終したり、国が場所に於て、高貴の御方の御巻

所謂それがために共産思想も掃蕩

とめるつもりで、某がいよ、彼が

て了ふことの出來るやうな甚礎の

この頃の映路には、従來館り現はれを賃行せざるものがあるとか、 字が現はれた際に於ても、なに

人の駆散した人の機能にも、敬意が駆取し切つてゐる場合には、一

【本社側】

―十一月卅日・東京楽地藍亭に於いて・ 御手洗副社長及び

法學博士

會談座局時

全土を不定 北支を基礎に

百田 そこで弱へにやならん。なければいかん。唯北支たは

呈國精 青年を訓練せよ

青年團指導者講習會における が、今後大に考へわばなら四周情に由ること勿論ではあります。 南總督の告爵

年自身の自覚を喚起し苦学の向 は一般を開発を開かるの外に無 の選用の段等を用するの外に無 の選用の段等を用するの外に無 の選用の段等を用するの外に無 と目的を題する上に、一般的にいのであります。朝鮮に於てこ

之が損寒を対するには、一方音 の上に立つて居ない施設に於て 抑々音学関数音の如き突動制度

であります

茅 **發達とに姿せられたいのであ** 克服し以て其の指導訓練と普 ٥

畜牛增產計畫

四十英國(既定十三英國を含む) 年末の下渡 作品にお寄り出来の場合を呼げるものである

郑情勢

くる所が多い。これ時相異なれ「に生態地勝を設定し、之によって、二萬二千五百五十七時何れも高

合でもある。
プロックは阿一民族の血の結 各民族の特性を築き上げて來その風土に馴致し長い殿史は 地に分れ天然自然の5ちに受問にッラン民族は各の土地土 といふが、これは同一窓続に ける環境と衣食住の関係から 人類の機関五千年、この長い た、大利民族といび朝鮮 今回の事變の裏に立派に實施 関税師の一本に聞一すること 更にその根本的精神の確立 半島治政三十年、その間に溶 々と彼打ちつ」あるが、私は の吾々の配先の血を踏へらせ を治つてゐる、それは内地人、 1元化することである、既に

の言葉が忘れるまでに道され がならぬ、この前民族が同一 がならぬ、この前民族が同一 の言葉が忘れるまでに道され 育器風俗の外域を質合し、真 は結成されたと見てよい、このキリと知つて、長い間の くら鮮沛北支の交通プロククリキリと知つて、長い間の くら鮮沛北支の交通プロクロ お題目のやらに唱へで來た 船と同じく内鮮爾民族は最も ヤール人、トルコ人、ブリヤ 如くして仕舞つた、然しツラ つの民族を全く別個のものよ に居住し交通の不便はこの二 は朝鮮御輿を服てた日本戦島は半島に停つて居住し、一つ 血の近いものであつて、 「内鮮脳和」や「丙蝉一覧」 ート人等から見れば歌古、流 ソ民族系統のフイン人、マヂ ・ 一般に活躍し運輸交通の重大使命を銀行してある、これは満年を選び、100mmを開発を通りませば、100mmである。これは満年を持ち、100mmである。これは満年を持ち、100mmである。これは満年 の微翠貝が鰹並報園の第一線た、取扱の北支には流路七千 つつある、その階をなす鑑賞リクは語らぬらちに結成され を指導者として鮮油北支ブロこの島國格群に燃え扱る半島 る血は一つなり』といること しの鮮崩一如のを具現して水 籍の下に今日まで潜々と發展 は既に鮮崩崩蜒合體の堅い連 を先づ認識することである *

一年田 御可感です、私はもう 古田 御可感です、私はもう **薬せてやれ** らんところもあるんだから よ、お互ひにも反省しなければ 御手洗 具体的なおあい

これは質は膀胱で属先にやらたけ ふことを資際に見せる必要がある ればなら母が、物には序があつて と日本の政策と何れが良いかとい 一ずぶつたくりが少しひと過ぎや 吉田 ヘラキリすぶと、 るやらにしなければならんこ よ、向ふの人間もは

盤に乗せて では箕壁に捜目がたざ過ぎた。 にかと思ふ

十分に出來てをらんが、今度の北 聯の思想的影響の二つから主と 方に英國の経濟的勢力と一方に 抗日に私が申上げるまでもなく 御手洗今の支那の排目

支だけは是非その第一階段を踏出 て出て來てゐると思ふんですが

ておがへがありますから 気地な拱 即手も いっことを見せてやるべきた。 すかです ら言へば、この財者をいかに別 ずることはどういふことになるか して、東洋諸民族か日本と仲良く 一つて安那の民心を轉向させる上 御手洗 建川 その通りだッ○ そのためには、

吉田 仲々念には行きません # 目抗日の支那民心を韓向させるに の 法をどうするかにあるんでする の訊いてゐるのは日本の具體的 東拓貸付減少

味をなさん。

先方も算盤し

特殊されが共後になつて支那全位

支に統一的政権を立てるに付ては 4が、我感の弱へを述べると、北| **用で、踏論も決つてをるまいと思** てなければならん。そこで仲々面 あるものを 北支にとうしても 雄 しやうし、所謂採日思想も排斥し いゝといふ難い軽へぢゃいかん。

を抑へる理想の下に拵へなければ

及店の十二月未現在に

年の日本

六関の減少である

る事情を相互に研究してこれ。
第の剛龍総督上の裁多の困難
機として先づ指導材神の競母

初の試みでありますが、帯ひ、

豫算四十萬圓查定通過





人の整理ではないでせらか

相帰に黙な数はそれこさいくらお 保守的な衣裳を選ぶてきです。 波にとり入れるよりも、

何晩餐でモにお招きを受けた際

おけば、標準的でその上最

初春の お髪 日本髪からヒント

これさつ守れば

可弱い幼兒に品 風を引かせぬ六ケ條 厚着させぬこと

起しやすいものですから、風邪の てゐる家があります。こんなのは そのに、五枚も土枝も着铅を着せそれがあつがつて冠をかいてる

ば、冷い風に當ると思も風邪を

早では「うたげ」という、

物のはじまり

戦記 絮計

激烈な戦闘開始

放 飯塚都

ということは、何と云つても風邪 ません。ひとく悲い思ひをさせの 寒氣にさらさぬと 目標に触れるが組るかして戻って 緒に走り出し、

猛歌でも何でも뽧でも知つ

と時を過しませる。

てつ使を

「雷遊び」

程のぶつく 報上病院 必

來たと思つたら體全體によって表近差のひざ下に水ぶくれが

含嗽させること

ひをさせます。もしる機能が咽喉

度、創造のやうに被覆して第一に、胃の程機の炎症を丁

馬山朝鮮酒造組合

本町

原

咸陽土木管區

電話 芸 大

松前

原

世話 古古

第二は、胃酸過多に最も国の第二は、胃酸過多に最も国の

迫 居昌朝鮮酒遭組合 島 進

小

林 郡

福

夫

晋

廳

大 州

Ш 穀物商組 永農場

非增 加額造株式會社 交 次路

郡守

<u>각</u> 川

澤

鍾邓

泗

t'i 馬 曹澤釜寬馬大內南朝朝朝朝日 1

咸安煙草小賣人愛煙會

刊務所

同

常務取締役 平方辰馬專榜取締役 常和雅夫

昭和酒類辨會社

鎭

海

佥

躍

會

安明校長俱樂部

晋

州

稅

務

署

鎭 井

海

邑

長

副

熊

記

三 干 浦 支朝鮮雨素銀行

州州

預造組 務 服

合署

管理者 梅 月三千浦 宝夜祖台

田前

川郡學校長會

大野酒造物

錢晋州緑棉工場

代技

一所水佐太郎

胃病で一番多い! かも頗る危険く

a 間

田 徹 報

定台

東洋製絲蜂會社

鎭

海

工

塲

山晋

下州

正

道

B

長

組

晋州胡鮮酒友造體

職『業』婦』人』の『洋』変

アメリカ婦人に聞いた選び方秘訣

附敬品の恥でパッグはなるべく

胃の粘膜に炎症ができる酸が込みあげるのは 胃の分泌腺が亢進して

▼…これが胃病で一番 月波の分泌が過剰にな るからです。

山田醬油釀造場

那學校長俱樂部

脦

安

郡

廳

鉛学校教員

職

員

同

三宅組馬山出張所

晋 野 邱

州 出 張地方專賣局

邡

東京衛子教店 東京衛子教店 東京衛士 大野回漕部 北 活 ナニ 帯

朝鮮酒造組合晋州稅務署

州

稅

手當をは悪化して胃が 五出し、食物が胃中に原流

藤 安

目加田商 加質易株式會計 松 鶴 情 香香香 Ш 戓 職 陽

咸陽砂防事業所 職 清 員 郡 一同 廳 職宣 遛 員一 郡 廳

Ę 郡 间

廳 娗 同 柱

215 職 陝 川 員 郡 廳

ij

高豐 華 樹 虎 穰 平 男

II 齋

松次 叞

山麓東西

けとか、否しとか、胃即ち、トモサンは、胸

源を本格的に治療して 猟を一時的に押へるの*** なく、胃酸適多の病

七の回復を早めるのが

40錠入 (毎 用) …三国右(銭 も)錠入 (1ヶ日重) …二国右(銭 た)錠入 (1ヶ日重) …二国右(銭

道

芷

晋

州醫

會

長

屋

店

代金引換にても即時發金す意接取資元へ御駐文を乞ふ部にあり。若し品切れの除各地の競店及びデバート概

砂

防州

4:

山 工 摥 藤沼造 電配 10九番

合所店所合店合 所店店店店所

以記公司の成利號乘組員

廣州] 淬鹽二十四日午後十一時

を慕ふ四百五月

| 讀 調節刑示があつて式を終り、

設立の認可を申請

近] 六日午前十時かに被州署 消防出初式

いい 官民多数念列の下に

都で「陰酷を限し」時間

城の人蔘 販賣統制强化

長端も大成功

問島羅子溝に入植

財産を横領

寺有脈鹿にかよる小作精。

為构变量

1.4

31

Tils

廳

驪州

郡

農

曾

山香町

戼

亢

赫

京楼主里山

岩石の下敷き

國行派改場

號

坍

GX.

14

署

江西 1111

清

水

ñá

祐

袦

泵

純

今野長次

13

李

М

連川消防組

朝取仁川支

、潮流、高値三拍子揃つて

例年にない好調

ら開放され間日は疎結狀態上機

代表者當局を訪問

の名記事を見逃

路があつたが右は邑長及管理署

會談

祈 久長運武軍皇

川園園 瓜 利 失

漢城銀行驪州友店 春寫 眞 植館 **體 上村重兵衛**

連川設切 山組合

京農計運用 共

樂上

新春の劈頭に贈る豪華殿堂 水登浦支局の催

正常光

古 П

電郵 年

連川郡 桑苗 組 本 村 嶺 基

年々減少する鎭海灣の鱈

増産に躍起の慶南

沃川郡面長會議

六千二百風餘に渡した 武(一月十七日城知事以下戰部)以【大田】忠南郡行女子講習所修了

川の煙草 寳上[永回]

斯萊也意 再就证明 連門 郵

燕

<u>.</u>

回条發院·李 原元線週川與前

載

įΩ

部內呵皮

洪

灦

庠

平 位

欿

信

Ą.

京製道連川

龖

州

郵

便

所

精米所

京尤級連川等前 (株式 柱 產 便 所 寄址 整植村 五 蓮川警宗署 谷

此外數篇

電話醒川二五番 浦滩 \mathfrak{M} 忠 Ξ 诹

郎

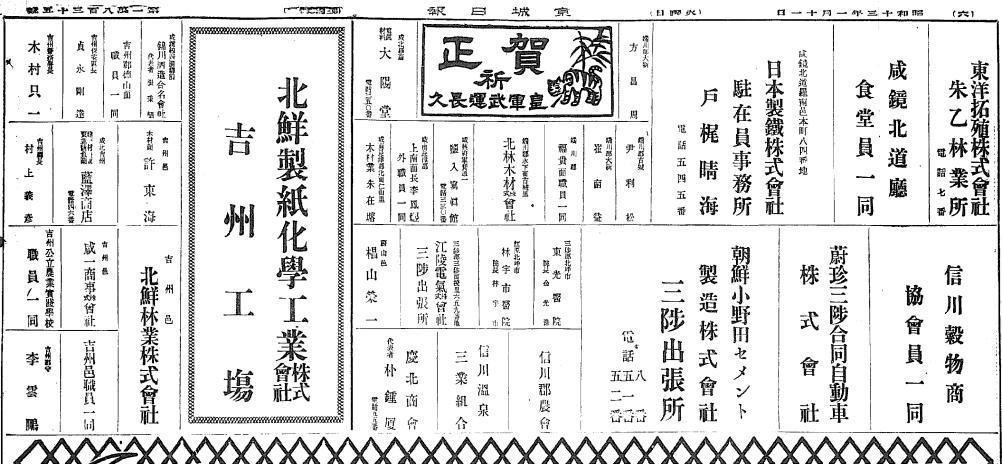
京

松光道

京 沖機

伊川釀造株式曾社

是則內松 | 國新 | 主導 計削 新 * 錢 + 六價定 *





名基列斯库洛斯等组の作玩で错

全十個一個正*%*四的九九度縣統

4

要を決行の際、大杯少佐に前方遊に高度料四千米の上空から我が 二月廿二日再は〇〇神殿を奉じ岡田〇〇神殿を接渡して南昌空紀衛を吐いた。その後敷度の空興戦!師かしい職果を収めたが 数機と批雑た生市戦を交へ終う成績十二機を解除して胸のす

さすが陣中慰問

に消息を絶つてしまったのである、悩金について二句、此間一隊「一般を開発したが」 使我人能してのこの時間に大杯被し盆人 どお墓碑を聴飲したが」 使我人能してのこの時間に大杯被し盆人 どお墓碑を聴飲して離の 心脈を弱からしめ 幌樹と力を異せて十 整御を弱見 - 突線な大杙少佐に後然草柳暮る離桐の眞只中に突 腰や即かした大松少佐は、廣島縣田舟で廣島一中を本業後再兵艦の毛御宮として前機を別ちとること丁敷機、江南の空に機なる武 全難構効果から朝韓神宮:御町八 した神治は心且委葬者に科要をし めたが、更に第二・御圏を基立に図 めたが、更に第二・御圏を見て他前 することとなが十日清濱一石、総 町五手宛をそれがく姿心した 神酒で慰問 恒列

局を織り込んだ教育方針を確立し

全國に率先して

等数育に一新紀元を関し、強く時

京畿道初等 校長會議

研究發表の主なるものは単校経験投擲堂で開催することしなった

會を十四 十五日の繭日南大門小 第一回初等學校教育方法研究發表

たる道内各初等學校見就指導指此京都道場務課では非常時第二國民 十六日から三日

三十大人、職講官員は入百名にのを反映してをり、研究豪衣者は、全を及映してをり、研究豪衣者は、全教目の新鮮稀など多分に時局、更料目の新鮮稀など多分に時局

クいざ難なりの時には何時でもイ

城大醫學部が開く

を決定すべく來る十六日から三日

にと京城帝大醫學部では、事物報

献に立つ全国紛科部生に防戒衛生文部質局から将来國防衛生の第一

闘する知識を徹底せしめるため

解雇を恨ん

3知識を確認してゐたが、 こんど

軍事調練を始め関防衛生に願う

英簡の確定をはるかに突破、三百五十萬となり、このうち六十萬節二十個

員長王克蝦氏宛に打電し欠いに気 すると共にこの記題時政府行政委

朝鮮時報祉

であるアルミニューム製ゴム配飾 所不定都本模1で、同党世域でにごであるアルミニューム製ゴム配飾し、外の大金を持つ不衡異会北生れ住工が将門京町三四、内の長島を前て一貫の銀者を流行中倉・京原三の東海で

ゴム靴の型を盗む

彰より錠前を破壊して何者かに復し独行を自供したので府内挑花町四十五百斤時代十五百町位の京庫内。引敖観べ上げた所スラノへと前記

関る 人に十日午後一時かに長崎市福建 き評細な極耐を加ることになったが、長崎在留支那

スキー

十日午前二時、ろから猛烈な保事。|を以て各道に通牒を發し起々一月を購かしてゐた三間スキー場は、|めてゐたが、このほど政務總等名 の後述日の寒さのためスローブ全 部が凍結して押掛けたスキー ことも良好となってスキーヤーを 日曜頃は絶好の三防 の結果は各方面に注目されてゐる一分間頁で遂行を傾ける の根幹をなすとまで云はれた「市 協力し、古來朝鮮人の赤梁、経歴 日』を限層に改正すべく心備を進

場から数火、可此風を半燥し同八

んで捜査を開始したが、早くもので捜査をは内が關係者の仕業と呪

【釜山電話】十日午前七時半釜山

牧瀬正常(三)柳陽是中谷作大郎(三四百四十二組)を積へ執行中、船長

漁聯から大連三菱文店行生組一手 トン)は昨年末江原道長前で同地 西山回灣店選撒權給八輪丸(三十

B)が共驟、釜山で六百八十九組を

記録破り

八日は七百件

指害八干圓

取されてゐるのを七日午後上時こ

原因は職工の火の不始求から、智

九日午後三時ごろ赤平、宇飛事組「永横」で京畿道生れ住所不定事正「を統善繁負に逮捕された

自宅に機侠中の実施資程道生れ高

(5)

天ぷら、の卷

与前の、デー東といつてぐつと握ると頭と尾が出る位の。でやつてくるやらになつたが、やにり大森あたりでとれて

枯らして使つてるくらめだ、あゝッヒグの天平々か、

年ほど前に趣町一丁目に用來た「生粧」あてこも最初は飲みないぜ、京城にだつて天ぶらくらの食はせる所はあるさ、お願にもたれるやうた不味いものはよしとけだと……さらでも

こあてたものだつた。なにしろ目の前で景貌よく恐げたで 今の女主人はたしか三代目だと思ふが中々サーヴィ

工產都

大方針を確立して

リキル京城府の産業當局

に跳騰機則の公布、

なつたかも知れない、「生験」はちよっと版自還するし「権の「権用」も瞬列をとつたが、態法に高いといふので有名によろしいぢゃないか、あそこより二年ほど後に始めた明治町

人らんさ、うつかりしてたら飛び出した目ン玉まで揚げられ

以果に基づきまで鎌工型の軍器

・ 養の問語――世界のマラソン王を 台長自ら「今年に候」の歌解い義の勝二十年のマラソン王を 台長自ら「今年に候」の歌歌、書の通知を襲し 安健元 一般二月を祭っすらっ 野獣 さ打破し (新二月を19年) と 生んた 京城和立城 正高者では年 際い巻だ」と正月を迎へた、蜀校暮の明語――世界のマラソン王を 投長自ら「今年に特に歌館院い戦

新暦の効果如件

彩正高普、戦勝、正月

により大脳客を揺へた半島の

|を終くに幸島で|| 転割・口来市品の生産力援売を|| の捜売を聞つてあるが、真張商、連舉土道地図の 新工の実内の電子製計は売力な は、優の改尊を加く、関策武策 はっていい 「関係のでは、関策の主義に 下の東部工家化・一、時間 場で軍将工家に韓向し得るもの数額を告げる北 産業に店を入れるこれがなった | 関ると実に、平和東義の主産工

数部刷新の根本主旨を構造?

背負つて起たらと創鮮グライダー 未來の。荒ちゃを整み航空朝鮮を一郎、趙信局類非知路の六君が寒風

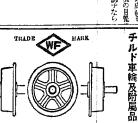
方法研究登表 初等學位教育

近漢。石垣原己、朝鮮火災不村二、みたが九日で「オーナ忠剛剛郷を終 職二十五日から京城飛行場で高商 島人野成の飛行技術練習食は、禁に仏機部具を中心とするアマチエア 他内毅 高工松木正光 姆栗蘭岡

アマチュア飛行練習 一根 新原、東州行士を教官・アンで聞いて伽藍生事発計長 加藤 サルムソン式二人二郡で練習機と リオ式二八巻、アプロ式五〇四数、

収めてをり数官もその進塔の目覧 四時間に遠してをり、鳥人として

単立つまでにはあと四時間の飛翔 大部分は地上戦物で飛鍬時間は約



金延報10 51

進3

發明界の最高拳

二五九八年製

愈

々 發 竇

呼吸器疾患は生命の505級電影が機能が、酸素吸入の大衆化

株式育社貞城御原社

一日午浜四時から狭藤戦を行っこ 延祥、鉄道爾チースが勝ち残り十 勝は十日滞原里リンクで舉行、全 朝鮮神宮競技アイスホッケー単佐

存証を構聞された者で内部の事情に滑車してみる所から始ら依 間に滑車してみる所から始ら依 用人の如子妻が子の末位を 学さとトラック連続子高末位を 学さとトラック連続子高末位を ですったが、これを知ったが、これを知った席本位に対すれた時で、これで に関いている。 も約三千五百四二上つて全りPので、競見oれた改審調が行いので、競見oれた改審調が行いの後三回に重り協取してゐた

船長ら横領

めてゐるが期故が破み一角降つた 土木工事諸所員は必死の改修に第一 出るなどの赤信聴に府内六ケ所の

【釜山電話】下間市製音等町一五

千四百餘圓

水道事故も 新スタンプーズンに供

等下十七度七分といる今冬の最低 | 地、沃川、土城、世里院 球場・| 人 の総許局でに來る三月から三浪 | へて総許局でに來る三月から三浪

阿供的名称を続い

けない紫原前まで上野松坂屋の権丁に屋前でやつてゐた 任方がない、日へ入れてプッリといふ做ざわりがあつて後に

しけるやらでなくちゃ、ねらしくもいけな

からだ塔蔵単にながい間御厄介になつてるぞうなエピ

いか、直魚、きす、貝様と新鮮なタネがいくらでも手に人

いと、名人と云はれるやうた男は人知れぬ苦心をして

しも時局色を映じ出して微笑を 新事製以來而號や名の 丸理器館と精被をてゐたものが日の

祭では ことんた時代にはやつ のやさしい難妓の深氏名の上に に「上海」「北支子」といるの 非常時らしい名がいゝです。 いところをみせてゐるが、

娘には避多にるやしないぜ、タネが悪いなんざあワシの「 らまいの、まづいのつて大きな目が利けるほどの通はこ

京城の或る天ぶら屋のおやちの話……いくら天ぶらを食

あつていけねえ、だいよち格油なんか使つてたのちや気候り部脈油が本道だ、つけきだのかやだのは軽く指がるが終い

やうちや京娘ツ子ちやない、なに指油がいょつて?油に ら來る帆立貝なんで一寸いける、それ位のことがわから るが、そんた馬鹿げたものは京城ちや手に入られて、

ならわえ(おし天からの神よ、どこまで

統優秀なる人ケ連須店の表際式に 三村興権氏司令のるとに開催 時から和信百気店六階ホール

和信連鎖店

第二回大會

配給腰商品見本室で発見特見本市

非智数のことは京城新 生會に 京城新 生會に 明子を問為とさい、別川等

※ 豆口垂の

だ柳病**り科**か

穀料換停止公告

決勝戦へ

神宮氷上成技

京城府都繋町三二 京城府都繋町三二 京城府都繋町三 1 0 0 大路時間・班日朝下時よ 7 1 1 0 大畑・宇・On唯休み 花

告に限り特に翌世にて掲載すの番目に映成の日本の単年により

湖 尾 庭 本町二丁目六九

全延禧い鐵道

して開戦と飛行の猛闘様をうけて

登上して立路に奉公が出来るやら く化學長祭に属する鑑量を開くことと語称にある事が判明市ちに排名の一番に臨せ会じて、一人前の軍 | て学野浦山陸軍病院長を指戦し近 | とは日下却皇金青美所に正月處担 | に決定するや、何大島では郷先し | 錫つにを標案主解の | 人金大郎

器生观素酸士富葉顯言許特

道路、下水溝の修繕に

写度に本器あり、学校生徒の勉強語に明明等に個子達の機能に明明

水満、水道絵は事故間出で修織作「道栓は脈水式になつてあるため後 「瓢門禮の日和が脳れ近年にない」|道事故は七百八十三件でこれま 土木係員汗みごろ 新記録であった、なほ京規府の水

東京 (本) 2 2 5 世 (本) 2 5 世 (

十萬を突破

職場を示した
のでは、
では、
では、
では、
では、
では、
では、
では、
では、
では、
でいる。
でいる。 ラデオ聽良者

傾濱專門學校 新語報·羅羅羅語 東京、京都、京城、福岡

嘅 I 募 集

特殊技能工及經歷アルモノハ源當特殊技能工及經歷アルモノハ源當特別 - 母性過極 - 婚年本月八年間動務月收五十間內外東湖一身體過極 - 婚年本月上日地人男子年齢湖十八歳以上三十年

至於中込アレ 年二回昇給及貨與金アリ 年二回昇給及貨與金アリ 年二回昇給及貨與金アリ 年二回昇給及貨

朝鮮窒素肥料株式會社 **永登浦皮草工場** Ø (定個表謝男) 古版 す

敞鏡南道與南邑

朝鮮鑛業所長更迭ニ付御挨拶 菱鑛業株式會社

三ノ事ト相成候ニ 就テハ 今後共不相變御 厚誼賜度奉願上 畔中ハ種々御懇情賜り難有奉深謝候今般宮城縣細倉鎭山へ 4.

大 坪 輝 蓝

成朝鲜 鏑葉所長 二就任政候二付何卒御懇情賜度奉願上候 小生

胡 俊

傤 儀

(横角大) 标图模) **万里**公司 女事務員募業

地帯御来談を乞ふか日の選集版というというは、日日の御祭の方は、日日の御祭別の方は、日日の選集歌四両舎別日一月十三年の選集歌四両舎別日一月十三年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二十二年の第二年の

女事務員採用 鐘紡サーヒス人事保

京 弘 支 店

半島ホテル

毛皮子公司

